

議第15号議案

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和6年9月10日提出

提出者	新座市議会議員	小野	大輔
賛成者	//	野中	弥生
	//	白井	忠雄
	//	田口	訓子
	//	助川	昇

提 案 理 由

女性差別を根絶するため、この案を提出する。



## 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

女性差別撤廃条約選択議定書は、女性差別撤廃条約の実効性を高めるために1999年の国連総会で採択され、締約国189カ国中115カ国が批准（2023年1月現在）している。

女性差別撤廃条約の締約国は、「女性に対する差別を撤廃する政策をすべての適当な手段により、かつ、遅滞なく追求することに合意」していることから、国連の女性差別撤廃委員会や国連人権理事会は、日本政府に対し、同条約選択議定書の批准を重ねて勧告している。

日本政府に選択議定書批准を求める意見書をあげた地方議会は、10府県議会を含め234にのぼる。第5次男女共同参画基本計画では、「諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としている。この立場に立って政府が直ちに取り組むべきである。

よって、政府においては、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和6年9月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

法務大臣 様

外務大臣 様

男女共同参画担当大臣 様